

科目名	日本語学講義 B				
教員名	小木曾 智信				
単位数	2	年次配当	2	開講時期	後期

#### テーマ・概要・目標

近年、コーパス言語学が注目を集めている。コーパスとはコンピュータに蓄えられた大規模な言語資料であるが、これを利用することでこれまで行うことのできなかつた研究が可能になりつつある。日本語学の諸分野においても今後の発展が期待されている。

この授業では、現在構築が進みつつある大規模日本語コーパスを中心に、日本語学とコンピュータが関わる分野、なかでも電子化資料・文字コード・形態素解析システム・データベースの利用法などについて講義する。また、これらのトピックについて実際にコンピュータを使った実習を行ってその利用方法を学ぶ。

#### 授業の計画

以下の各テーマについて、実習を含めそれぞれ3回程度の授業を行う。

- ・日本語コーパスの紹介
- ・電子化資料の現況
- ・文字コードの問題
- ・形態素解析の仕組みと使い方
- ・データベースによる形態素解析結果の利用

#### 授業の方法

コンピュータに教材を提示しながら講義するとともに、各自がパソコンを使う実習を行う。ただし、受講者の人数によっては方法を変更する場合がある。

#### 成績評価の方法

出席・期末テスト・小レポート等を総合して評価する。

#### 必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

特になし。

#### テキスト

特定の教科書は使用しない。Webページの形で提示するほか、必要に応じてプリントを配布する。

#### 参考書

授業時に紹介する。